

# 介護を社会で支えあっています

介護保険制度は、高齢化が進む中、寝たきりや認知症などで介護が必要となった高齢者を家族だけでなく、社会全体で支え合う制度です。要介護認定、要介護状態の区分をお知らせします。



## 1 要介護認定は！

- ①申請 介護サービスの利用を希望する方は町の保健福祉課で「要介護・要支援認定」の申請をしてください。

申請に必要なもの

65歳以上の人  
(第1号被保険者)

40歳から64歳までの人  
(第2号被保険者)

●要介護・要支援認定申請書（町保健福祉課にあります。）

●介護保険被保険者証

●医療保険被保険者証（40歳から64歳までの方で脳血栓疾患など16疾病が原因で介護を必要とする人です。）

- ②要介護認定

認定調査

医師の意見書

町職員などが訪問し、心身の状況などを聞き取り調査します。訪問調査の結果は、コンピューターに入力され、全国一律の基準で判定されます。

主治医に疾病や心身の状態について医学的な見地から意見をいただきます。

- ③審査・判定 認定調査・医師の意見書をもとに「介護認定審査会」で審査し、要介護状態区分を判定します。

- ④認定・通知 介護認定審査会の審査結果に基づいて「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」の区分に分けて認定され、その結果を通知します。

## 2 要介護度の区分は！

要介護5	在宅でサービスを利用したい方は、居宅介護支援事業者と契約し、ケアプランを作成し、介護サービスを利用します。 施設へ入所したい方は、施設へ直接申し込みます。
要介護4	
要介護3	
要介護2	
要介護1	
要支援2	地域包括支援センターが中心となって介護予防サービスを行います。
要支援1	
非該当	地域包括支援センターが実施する地域支援事業の介護予防事業を利用します。

### Q 指定居宅介護支援事業者とは

**A** 都道府県の指定を受け、ケアマネージャーがいる機関です。要介護認定の申請の代行や、ケアプランの作成を依頼するときの窓口となり、サービス事業者との連絡・調整などをおこなっています。

### Q ケアマネージャー（介護支援専門員）とは

**A** 介護の知識を幅広く持った専門家で、介護サービスの利用にあたり次のような役割を担っています。

- 利用者や家族の相談に応じアドバイスをします。
- 利用者の希望に沿ったケアプランを作成します。
- サービス事業者との連絡や調整をします。
- 施設入所を希望する人に適切な施設を紹介します。

### Q 地域包括支援センターとは

**A** 地域の高齢者の心身の健康と生活の向上のために、必要な支援を総合的に行う機関です。相談を幅広く受け付け、医療機関や行政機関等と協力して、高齢者一人ひとりをサポートします。

※詳しくは町保健福祉課介護保険係（☎1603）、地域包括支援センター（☎1607）まで。